

個人山行 男体山・女峰山

2017年5月22～23日（月・火） 岡本（単独）

21日夕刻に奈良を出発し、男体山と女峰山を目指す。関越の赤城SAで仮眠、22日は志津乗越まで行き、男体山往復の後、太郎山（300名山）を登ることにしていたが、裏男体林道が通行止めの為、太郎山は断念、仕方なく二荒山神社から登ることにする。

二荒山神社で入山料を払い鳥居を抜けると、いきなり急な階段が続く。樹林帯を30分余り歩くと林道にでて、ここが三合目。15分程林道を歩くと鳥居のある四合目の登山口に出る。ここからは、急な坂道が続き、六合目手前からは岩のゴロゴロした更に険しい坂道となる。八合目の鳥居を過ぎる辺りまで、この急な岩道が続く。



（二荒山神社登山口）

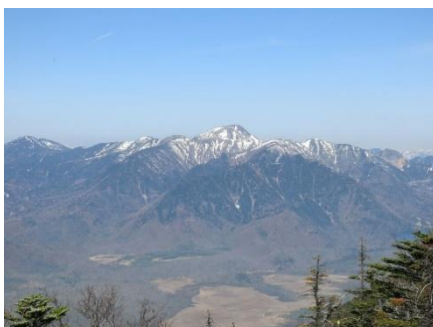
八合目を過ぎると、少し傾斜が緩くなり、火山岩と小石の道が山頂まで続く。山頂の少し手前からは、急に展望が良くなり、中禅寺湖や日光白根山方面が綺麗に見える。

山頂は360度の大自然パノラマだが、女峰山方面は少し見えにくい。少し志津峠に続く尾根を歩き、女峰山の見える所までいく。時間も有り頂上付近で1時間近く休む。少し霞みがあるものの、上越の山々の景色を満喫。

10時15分、のんびり下山開始。12時過ぎには二荒山神社に着き、後は中禅寺湖や戦場ヶ原で2時間余り時間を潰し、3時前に宿



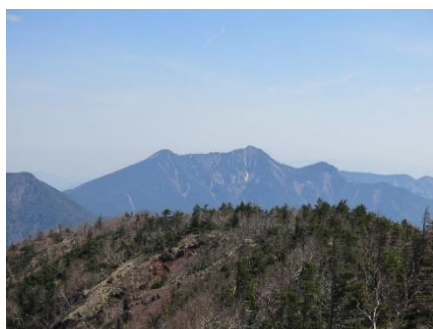
（山頂手前から中禅寺湖）



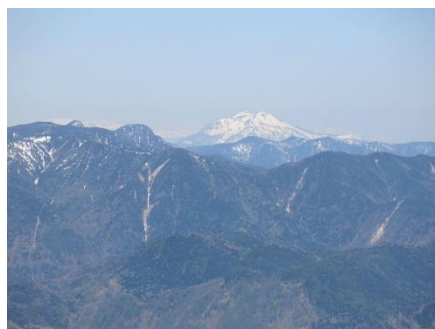
（戦場ヶ原と日光白根山）



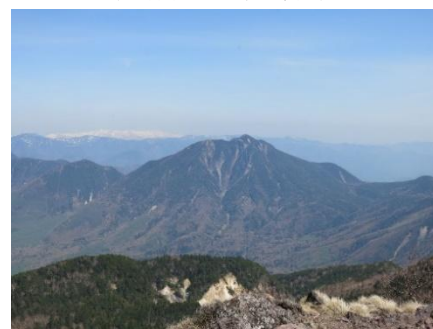
（男体山山頂）



（男体山から女峰山）



（男体山から燧岳方面）



（男体山から太郎山）

泊予定の湯元温泉へ行き、温泉に浸かり、後は生ビールを楽しむ。

6:45 二荒山神社→7:30 四合目→8:25 七合目→8:45 八合目→9:25 山頂(休憩・尾根散策、10:15 発)→11:30 四合目→12:05 二荒山神社

23日、朝5時20分に旅館出発、1時間弱で霧降高原に到着。今日は長丁場な上、下山後奈良まで帰る予定なので、少しペースを落とし、体力を温存しながら歩く。天気は快晴、今日も平野部では30度近い気温で、朝から背中に直射日光を浴びながら歩く。久し振りに歩き始めから日焼け止めとサングラスを使う。

登山口は、いきなり標高差が200m強の1445段の階段で始まる。丁寧に登って約25分、普通の登山道より効率的かもしれない。階段を上り切り、鹿よけのフェンスをくぐったところが小丸山1601mだ。ここから、赤薙山まで緩やかなスロープが見える、が、上部は意外に急な登りと木の根で歩きづらい。赤薙山から奥社跡までは、アップダウンの激しい岩場と急な登り



(1445段の階段上部)



(赤薙山 2010.3m)



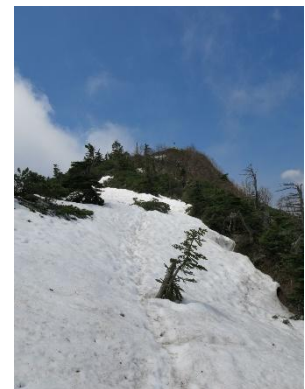
(尾根から女峰山を望む)

もあり、思いのほか手こずる。この辺りから、所々中途半端な残雪があり、泥と木の根っこと雪が混じり合い、これがルートを分かり難くし少し歩き辛くしている。やがて遠望の利く一里ヶ曾根に着くが、そこから女峰山を眺めるとまだあそこまで歩くのかという気分になる。

一里ヶ曾根を越えると直ぐに水場に着く。ここで少し休み、気合いを入れ直し頑張る。最初少し登りもあるが、意外に距離が稼げる。残雪のあるところの雪もしっかりしているし、急な登りの岩場や、展望もありコースも変化に富み、気分良く歩ける。最後の急な岩場を過ぎ、ハイマツ帯を抜けると残雪の向こうに山頂の標識が見える。最後は思ったより時間が掛からなかった。



(一里ヶ曾根から女峰山)



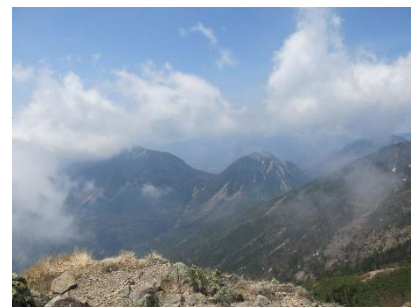
(てっぺんが山頂)

山頂で少し景色を楽しんでいると急に雲が出てきて、早速に下山に掛かる。結構アップダウンのき

ついコースなので、下りもペース配分に注意して歩く。水場を過ぎた辺りからガスと風も出てくるが、気温も少し下がり歩きやすくなる。後は惰性でひたすら歩くだけだ。が、流石に最後の1445段の階段は途中からうんざりしてくる。14:40、何とか下山。15時頃には霧降高原を出発し、日光、東北、北関東、関越、長野、中央、伊勢、東名阪自動車道と名阪を国道を一気に走り抜け、23時帰宅。少し疲れた一日でした。



(女峰山山頂 2483m)



(大真名子山と小真名子山)

6:20 霧降高原→6:50 小丸山→7:55 赤薙山→8:40 赤薙奥社跡→9:40 一里ヶ曾根→9:50 水場→10:55 女峰山山頂 (11:10 発) →12:00 水場→13:00 赤薙奥社跡→13:35 赤薙山→14:40 霧降高原